

政策	63 観光レクリエーションの振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	観光客						
基本施策目的	地域を支える活性化策の一つとして多様なニーズを充実する総合的な観光地づくりが推進し、業種を越えた連携強化により観光地としての新たな付加価値の創造を図る。						
成果指標	観光客入込数						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人/年]	予定	4,600,000.00	4,750,000.00	4,850,000.00	5,000,000.00	5,100,000.00
		実績	3,952,008.00				
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	348,147		0	0	0	
	実績	350,478			0	0	
内部評価	貢献度	基本方針の目指す姿は、総合的な観光地づくりの推進や新たな付加価値の創造を図ること で実現されるため、本施策の目標である観光客入込数は重要な指標である。					
	達成状況	震災による風評被害等の影響で、観光客入込数が震災前までの水準には回復していないこ とから、目標が未達となった。					
	課題	震災による風評被害払拭のための誘客対策を展開し、拠点施設の魅力化と有機的なネット ワークの形成、新たな付加価値を創造する必要がある。					
	取組方針	観光基本計画に位置付けた施策を着実に実現し観光振興を総合的、継続的に進めるため、 官民協働による推進体制を構築するとともに、県外での誘客活動を強化する。					
外部評価	<p>震災の風評被害による影響で施策目標である観光客入込客数が未達成となっているが震 災の影響以外の要因についても検証し、各施策における観光客誘客策を強化して観光客入 込数の増加に努められたい。</p> <p>市内大学生や高校生と協力してとちぎブランド農産物を活用した新たなグルメ商品等を 開発し、観光客増加に取り組んでいくこと。</p> <p>県南地域の強みを生かし栃木県の玄関口として観光PRを進めるとともに、他の市町と の連携により県外からの観光客を誘導すること。</p> <p>とちぎブランド農産物等を活用した地産地消の食事が出来る大型バスが誘導できる施設 も必要である。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	6302	観光ネットワークの形成				68,444	95
	6301	魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成				261,061	90
	6303	新たな付加価値の創造				20,973	90